

# 雄 飛



向陽高校進路便り 第51号  
平成28年10月06日(木)  
～臥龍鳳雛～

21期生センター試験まで

100

## 10月3日(月) 大安吉日出してきました！

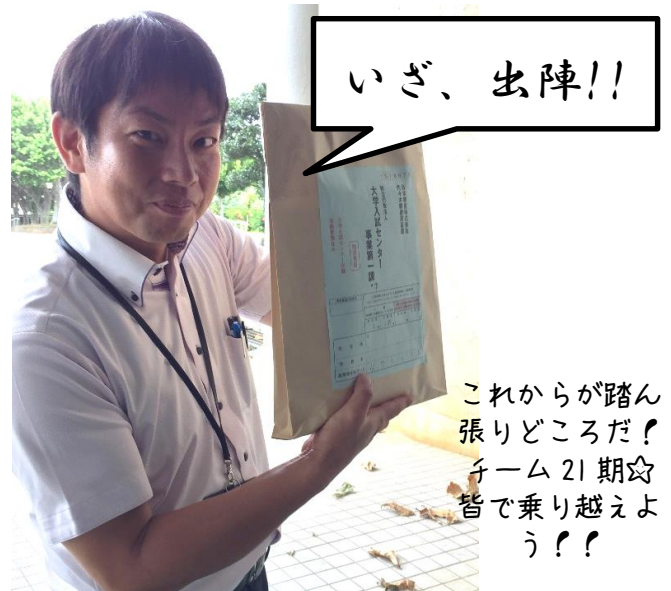
台風18号(チバハ:タイ語でハビスカスの意味。905hPa!!!!)が迫り来る午前9時過ぎ、事務室前…

校長先生、教頭先生、そのほか多くの職員が集まりました。本校恒例の「センター願書郵送☆出陣式」です。21期生の願書を郵送するというミッションに向かう悠先生。皆で願書に「全員合格！」の念を込めて送り出しました。



絶対合格  
心願成就

3年生はこれから本格的な追い込み時期に入っていきます。夏までのインプット中心の勉強から、模試などを利用したアウトプット中心の勉強を徐々に増やしつつ、実践力を高めていくことになります。焦りや不安に駆られることもあるでしょうが、やるべきことを冷静に確実にしっかりとこなしていくことが重要です。



これからは踏ん張りどころだ！  
チーム21期☆  
皆で乗り越えよう！！

## 問題攻略の要点をノートに集約し、理解&知識を蓄積!

### ◎ 理解を深め、記憶を残す。ノート活用で一石二鳥!

これからの時期、センター・志望校の過去問をはじめ、たくさんの問題を演習することになるが、一つひとつの問題を解くたびに、問われ方の特徴・パターン、解法のコツ、頻出の知識事項、自分のミスの傾向など、さまざまなことを学べるはず。そうした貴重な学習の成果物をノートに書き残して集約すれば、問題攻略の虎の巻が完成する。これを折に触れて何度も見直して、記憶を確実に定着させるのだ。

また、ノートに要点を自分の言葉で整理してまとめる行為を通して、思考が整理され、理解もより深まるし、しっかりと理解できた内容は記憶に残りやすい。

### ◎ ノートに集約したい内容

- 学習履歴・得点の記録
- 問題コピーと答案・添削
- 模範解答・別解
- 解答の方針・流れのまとめ
- 解答の反省点や課題の考察
- 弱点・ミスなどの注意喚起
- 問題に関する知識事項

⇒ 間違い&苦手問題の解法まとめノート、センター&志望校の過去問演習ノート、覚えられない知識の暗記ノート・カードを作成すると、得点力Upに役立つ。

### ~~~~秋の受験勉強 “疑問&悩み” 解消Q&A~~~~

夏の計画が実行できず、基礎固めが遅れているんです…

Answer

焦らず基礎固めを終わらせる。ただし、完璧を目指さない。

基礎固めの成果が模試の成績に現れないんです…

Answer

基礎を使いこなす練習が必要。問題演習の経験を積もう!

解説は理解できるが自力で問題を解けないんです…

Answer

解き方を意識して問題を演習。復習で解法を確認&マスター!

●夏休み中には基礎固めを終え、2学期からは問題演習で応用力養成というのが受験勉強の基本。だが、ろくに基礎が身についていない状態で問題演習に力を入れても、十分な効果は得られない。周囲が過去問演習などを始めると、どうしても先を急ぎたくなるが、**まずは基礎固めを終わらせる**ことに専念しよう。その際、完璧を目指す必要はない。各分野の基礎をひと通り学習したら、多少の穴があっても問題演習に切り替え、その中で穴を埋めればよい。

●夏休みに基礎を叩き込んだのに、夏休み明けの模擬試験の結果はイマイチ。「夏の努力はなんだったのか…」と肩を落とすケースもよくある。しかし、これはおかしなことではない。基礎固めのあとすぐに応用問題が中心の模試問題を解いても、学んだことを使いこなせず、思ったほど得点が伸びないことが多いのだ。

必要なのは問題演習。**さまざまな問題を演習し、基礎を応用する練習を繰り返そう**。一定の経験を積めば、必ず成績は伸びるはずだ。

●解説がわかるなら、ある程度の基礎は身につけているはず。それでも解けないのは、問題演習の量や方法に原因があると思われる。

確実な解決策としては、**特に“解き方”を意識して多くの問題を演習すること**だ。まず、設問の趣旨や正解への道筋をじっくりと考えて解答する。そして解答後は、着眼点から正解までの流れ、その過程で必要な知識などを検証。さらに、時間をおいて解き直し、解法の定着を確認する。この手順で問題演習を繰り返そう。